

6.8.2 生物・生態系

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.2-1 に示すとおりである。

表 6.8.2-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 ・陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 ・生育・生息環境の変化の内容及びその程度 ・生態系の変化の内容及びその程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・既存緑地の改変の程度 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。 ・フィールドには約20,000m²の張芝を行う計画としている。 ・予選会場を多目的コロシアムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。 ・一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植する。 ・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.2-2 に示すとおりである。

表 6.8.2-2 調査手法

調査事項	陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 生態系の変化の内容及びその程度	
調査時点	工事の施行中及び終了後とした。	
調査期間	予測した事項	工事終了後の春季～夏季とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落の植物の生育地が改変されたが、植生に大きな変化はなかった。一方で、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、計画地を含めた、夢の島公園の生物の生育・生息基盤に大きな変化は生じないことと同時に、外来種対策に寄与した。

イ) 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じたが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の多くは維持された。

ウ) 生育・生息環境の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じ、移動性の低い動物相及び動物群集(昆虫類の幼虫、土壤動物等)の生息環境が変化したが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の生育・生息基盤の変化を緩和している。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植したことから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持された。

エ) 生態系の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群が伐採及び移植されたことから、生態系を構成する陸上植物、陸上動物が相互に係る生育・生息環境が変化したが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなかった。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、周辺地域も含めた生態系は維持された。

イ. 予測条件の状況

ア) 既存緑地の改変の程度

「(1)予測した事項」に示すとおり、新たに 11,536m²の張芝が行われていることを確認したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した高木 38 本について、順調に生育していることを確認した。

イ) 緑化計画

緑化完了図については、「8.1 生物の生育・生息基盤 (1)調査結果の内容 2)予測条件の状況」(p.32 参照)に示すとおりである。

ウ) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.2-3 に示すとおりである。生物・生態系に関する苦情はなかった。

表 6.8.2-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> 計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。 	<p>樹木診断により、移植に適していると判断された高木 38 本を移植した。（写真 6.8.2-1～写真 6.8.2-3）</p>
<ul style="list-style-type: none"> フィールドには約20,000m²の張芝を行う計画としている。 	<p>フィールドに 11,536m²の張芝を行った。（写真 6.8.2-4）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 予選会場を多目的コロシウムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。 	<p>計画どおり、予選会場を既存樹木の少ない多目的コロシウム内に配置した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植する。 	<p>一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植した。（写真 6.8.2-5～写真 6.8.2-6）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。 	<p>植栽した樹木に定期的な灌水、除草、剪定、花がら摘み等の管理を行っている。植栽した樹木の枯死等の生育状況の不良は確認されていない。</p>



写真 6.8.2-1 移植後のケヤキ



写真 6.8.2-2 移植後のサクラ類



写真 6.8.2-3 移植後のトチノキ



写真 6.8.2-4 フィールドの張芝



写真 6.8.2-5 既存樹木の根回し



写真 6.8.2-6 既存樹木の根回し

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

イ) 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落の植物の生育地が改変されたが、植生に大きな変化はなかった。一方で、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、計画地を含めた、夢の島公園の生物の生育・生息基盤に大きな変化は生じないことと同時に、外来種対策に寄与した。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

ロ) 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じたが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の多くは維持された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

ハ) 生育・生息環境の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じ、移動性の低い動物相及び動物群集(昆虫類の幼虫、土壤動物等)の生息環境が変化したが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の生育・生息基盤の変化を緩和している。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植したことから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

ニ) 生態系の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群が伐採及び移植されたことから、生態系を構成する陸上植物、陸上動物が相互に係る生育・生息環境が変化したが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなかった。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、周辺地域も含めた生態系は維持された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。